

科目名	小児看護援助論Ⅰ				
担当講師名	寺口 恵	所属・役職	二戸病院主任看護師	資格・免許	専門看護師
担当講師名	紺野 知亜紀	所属・役職	主查看護教員	資格・免許	看護師
授業形態	講義・GW・演習	単位数・時間数	1 単位 15 時間	開講年次	2 学年前期
講義の概要	子どもの成長・発達や子どもの権利をふまえて、症状や状況に応じた看護と疾病・症状増悪予防の看護を学習する。子どもが本来持っている生きる力を強める関わりと、子どもとその家族に対する看護について学習する。				
到達目標	・症状や健康状態に応じた子どもに必要な看護技術について理解できる。 ・子どもによくみられる主な症状、子どもと家族に起こり、直面しやすい状況と看護について理解できる。				
講義回数	講義内容				
1	1. 病気・障害をもつ子どもと家族の看護 1) コミュニケーション 2) 病気・障害が子どもと家族に与える影響 3) 治療における意思決定支援 (インフォームドアセント、プレパレーション) 4) 健康問題をもつ子どもの家族の看護			二戸病院 講師	講義
2 3	2. 病気・障害をもつ子どもに必要な看護技術 1) フィジカルアセスメント (VS 測定演習は小児Ⅲ) 2) 薬物療法 ①薬物動態と薬剤量の決定 ②輸液管理 点滴固定 ③経口薬、坐薬の与薬 3) 検体採取 ①採血、採尿 ②腰椎穿刺・骨髄穿刺 4) 経管栄養				講義・演習
4 5 6	3. 外来における子どもと家族の看護 1) 外来の環境、感染症対策 2) 長期的な健康管理を必要とする子どもと家族 3) 緊急度の把握 (トリアージ) 4) 診察時の援助 5) 健康診査・育児相談の実際 ①身体計測 (身長・体重・胸囲・頭囲、大泉門)				講義・演習
7. 8	3. 子どもにみられる主な症状と看護 1) 啼泣・不機嫌 2) 発熱、けいれん、発疹 3) 悪心・嘔吐時 4) 下痢・便秘、脱水 5) 呼吸困難、チアノーゼ				教員 講義
教科書等	「小児看護学概論 小児臨床看護総論」医学書院 「小児看護実習ガイド」照林社 適宜、資料配布				
成績評価方法	出席状況、授業参加状況、課題レポート、筆記試験等により総合的に評価する。				
履修上の留意点	既習の基礎看護学、小児看護学総論、母性看護学をふまえ授業に臨む。				
特記事項					

